

「社会教育委員」ってどんな人？

あなたの経験や知識を生かして社会教育委員になってみませんか？



社会教育委員は、都道府県や市町村の教育委員会から選任され、地域の社会教育において重要な役割を果たしています。では、社会教育委員は具体的にどんな役割を果たしているのか、今回は、社会教育委員の仕事について一緒に学んでいきます。

どんな役目を担っているのか？

社会教育委員は、社会教育法に基づき、地域の社会教育に関する計画や事業等について、教育委員会に対して意見を述べたり、必要な調査研究を行って教育委員会に助言をしたりする特別職の公務員です。社会教育施設の管理・運営、学習機会の提供、様々な活動の主体（単体）への支援、未来を担う人材の育成など、多岐にわたる社会教育の振興、すなわち、「豊かな社会の実現を支える重要な役割」を担っていると言えます。

社会教育委員にはどんな人が選ばれるのか？

自治体の規模にもよりますが、学校教育・社会教育・家庭教育の関係者、各分野の有識者などから専任されるほか、幅広く意見を求めるため、多くの自治体で公募による選抜を行っています。通常、書類や論文、面接などで選考されます。社会教育委員になるために、特別な資格は特に必要ありません。地域のために何かしたいという熱意のある方、教育に関心のある方、様々な年代や職業の方々が各自治体の社会教育委員として活躍をしています。



こんな活動をしています（主な活動）

□ 定期的な会議やワークショップへの参加

自治体の社会教育における方針や政策、公民館や図書館などの社会教育施設の利用状況などについて、教育委員会から説明を受け、それに対して意見を述べていきます。また、地域の課題や住民の学習ニーズ、まちづくりの政策などについて「熟議」を行うことを通して、教育委員会に提言を行います。

□ 社会教育に関する調査・社会教育施設の視察

公民館や図書館、博物館などの社会教育施設を訪れ、その運営状況や利用状況を確認し、改善点がないか検討します。また、他の自治体に出向いて先進的な事例について視察を行うこともあります。さらに、地域住民に対してアンケートを取ったり、聞き取りを行ったりして、地域の課題や住民の思いを調査している場合もあるようです。定期総会やワークショップの際に、調査や視察について報告を行うことで情報共有を図ります。

□ 社会教育活動への支援・協力

地域の社会教育に関するイベントや事業（地域のお祭りや文化イベント、講演会など）に、企画段階から協力したり、当日のお手伝いをしたりすることもあります。活動主体への指導、支援ということではありますが、地域の方々との交流を通して、新たな知識や視点、ニーズを直接得ることにもなります。



社会教育委員になってみませんか？

自分のこれまでのキャリアや経験、知識を生かして地域貢献・社会貢献を実感しながら、活動を通じて新たな発見と人とのつながりを築けるのが社会教育委員の魅力です。また、自分たちの意見がもとで、地域が活性化したり、住民の生活が豊かになったりすることで、非常に大きな充実感や高揚感が得られることと思います。あなたも社会教育委員になってみませんか？ 興味をもたれた方は、各自治体の教育委員会にお尋ねください。

★新潟県の生涯学習の情報なら

※画像はGoogle Geminiを使用して生成しました。

ラ・ラ・ネット

検索

お問い合わせ：新潟県立生涯学習推進センター TEL 025-284-6110

『NEWS LETTER』バックナンバーはこちらから

